

## 校長挨拶



# 喜びはともにあること

～よりよく生きる力をはぐくむ～

京都府立宇治支援学校ホームページを御覧いただき、ありがとうございます。宇治支援学校第7代校長の星川涼華と申します。今春より着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

宇治支援学校は、かつて城南高校のあった地に、平成23年度に開校し、今年度15周年を迎えます。学びの地として長く受け継がれてきた歴史ある立地を活かし、地域の皆様から多くのご理解・ご協力をいただき、地域と協働した「地域学習」を進めてまいりました。

めざす子ども像は、「地域社会に貢献し幸せに暮らすことができる子ども」です。現代社会に目を向けると、多様性・優しさが軽んじられるような悲しい出来事や自然災害への心配もあります。子どもたちが幸せに生きるために、これからの社会がどうあるべきか、私自身も迷うことがあります。

そのような時代だからこそ、障害のある・なしにかかわらず、誰もがかけがえのない個人として尊重される、お互いの人格や個性を尊重し合いながら共に生きる社会（共生社会）の実現に向けた教育を進めることが、令和の特別支援学校に与えられたミッションです。

学校は、まず1つ目に、自立と社会参加に向けて、障害や発達についての専門性に基づいた教育・授業を追求し続けます。「よりよく生きる力をはぐくむ」を教育目標に、子どもたち一人一人の可能性を引き出す授業づくりにチャレンジし続けます。2つ目に、子どもたちが「共に学ぶためのインクルーシブな環境づくり」に取り組みます。共に学ぶことの良さを実感できた子どもたちが、共に生きることが大切にされる社会の担い手となっていく。そのような願いのもと、教員もまた共に学び続けます。3つ目に、地域の特別支援教育の推進に寄与し続けます。「地域支援センターうじ」を中心に、それぞれの場での学びやすさ・生きやすさにつながる指導・支援や共に学ぶための環境づくりについて、校区の皆様とご一緒に考えてまいります。

開校以来、子どもたちの姿が学校の進むべき道を切り拓いてまいりました。子どもたちの成長を支えてくださる保護者・地域の皆様への感謝の気持ちと謙虚な姿勢を忘れずに、本校の教育理念「喜びはともにあること」の意味を問い続けていきたいと、校長として勤務する責任とともに強く感じております。

このホームページでは、子どもたちの日々の学習の様子や学校がチャレンジする姿を発信してまいります。春・夏・秋・冬、自然の姿と同じく、あたたかく・時に厳しく、学校へのご理解・ご支援をいただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年4月1日  
京都府立宇治支援学校  
校長 星川 涼華

